

CASBEE®広島

(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島刑務所 庁舎	階数	地上3F
建設地	広島市中区吉島町13番114号	構造	RC造
用途地域	二種住居地域	平均居住人員	85 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,600 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年8月1日
敷地面積	76,977 m ²	作成者	勝山 正直
建築面積	1,396 m ²	確認日	2013年8月5日
延床面積	2,728 m ²	確認者	元松 経男



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.5

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.9	スコア = 2.1	スコア = 3.2
<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>空調室外機の細かな系統分けにより、エリアごとの温度制御を可能とする / 自然換気窓の設置</p> <p>太陽光発電パネルの設置 / 給水・ガスともに使用用途が限られているため、メーターの監視により、おおよその内訳の把握が可能。 / 給水・ガスともに中央監視装置によりモニタリングを行う。 / ビニル床シート・せっこうボード等はリサイクル材を原材料とし、アスファルト防水下地断熱材は再利用可能な押出法ポリスチレンフォーム保温材を採用している。 / オゾン層破壊係数0の冷媒使用・全熱交換器の採用</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>敷地内の歩道には保水性舗装と雨水利用の打ち水システムを採用し蒸発散作用により周辺の温度を下げる / 敷地内一般車輦と大型貨物車輦の出入口と走行範囲の分離</p> <p>自転車置場を確保することで無断放置防止に役立つ</p>	<p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>主要内装仕上材の更新必要間隔の長期化</p> <p>床: ビニル床シート (20年)</p> <p>内壁: EP (65年)</p> <p>天井: 化粧PB (30年)</p> <p>空調・給排水配管の更新必要間隔の長期化 / 将来機器増設に対応できるよう、屋上に十分なスペースを確保する</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される